

風流印字

●発行 (株)和歌山印刷所

■本社

〒640-8412 和歌山市狐島609-9

TEL.073-451-4111 FAX.073-452-2631

■東京営業所

〒100-004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本橋ビル 3階

TEL.03-6658-8440 FAX.03-6658-8441

●発行年月日 2020年3月1日

今年の冬は例年より暖かいですね、季節の変わり目は体調にご注意を!

こんにちは! 和歌山印刷所、通称「わいん」です。

ニュースでも取り上げられ、注目されている「あるもの」をご存じですか?

今月は「ストロー」についての業界の取り組みの特集です。

■開けて丸洗いでできるストロー

縦に開いて丸洗いでできるシリコン製のストローが最近発売されました。細いブラシで中を洗うタイプはよく見かけますが、開けて洗えるタイプというのは珍しいですね。洗ったあとは、丸めると再度筒状に固定でき、繰り返し使えるそうです。ところで、どうしてプラスチック製以外のストローが流行っているのでしょうか。



■プラスチックごみ問題

近年、使い捨てプラスチック製品の使用量を減らす機運が高まっています。プラスチックは、高い耐久性や腐敗しない特徴を有する反面、適切に処理しなければ、分解されるまでに数十年から数百年もの時間を必要とします。

そこで問題視されているのが、マイクロプラスチックによる海洋汚染です。これは海に流出したプラスチックごみが細かく砕けることで引き起こされ、「2050年には海中のプラスチックごみが世界中の魚の量を超えてしまう」と言われるほど深刻化しています。

■プラスチックの代用品

海洋汚染をこれ以上進行させないために、プラスチック製のストローをやめよう、というニュースをご存知の方も多いでしょう。とはいえ、ストロー自体をなくしてしまうわけにもいきませんから、別の材料で作ったストローが注目を集めているのです。

シリコン製以外にも、紙、金属、竹、ガラス製等のストローがあり、スターバックスやセブンイレブンでも取り組みが進められています。



■再利用と環境負荷

ストローに限らず、プラスチックの削減は世間で進んでいます。レジ袋やお菓子の袋等を紙製に代える試みもあります。また、ペットボトルならぬペーパーボトルや、海藻から作った水入りカプセルなんてものも開発されています。

紙のように、再利用の環境負荷が低い資源への注目は、今後ますます高まっていくことでしょう。

総務3人娘がお届けする

わいわい インタビュー



私たち総務3人娘が、
普段は聞けない
経験談を毎月レポートします。
今月のゲストは、
製品部の田原佑哉さんです!

■最近うれしかったことってなんですか?

紙を折る機械をメインで使用しているんですが、昨年と同じ仕事きた時に、以前より短い作業時間で終えることができたことです。また、出来あがったものが、以前より美しく仕上がっているのを見て、成長を感じることができました。

■苦労したエピソードはありますか?

新人の頃は機械の使い方に慣れず、手際が悪く時間がかかりすぎていました。どうすれば作業時間が短縮できるのか考え、機械のクセを知るために、紙の置き方や紙の種類によって機械の速度を変えてみるなどして、試行錯誤したことです。

■つらかったことを乗り越えた工夫って?

困った時はノートを見るようにしています。機械のクセや自分の悪かった点などをノートに書きとめているので、それを参照しながら試すようにしています。仕事の数をこなすことで段々と手際も良くなっていますが、まだまだ至らぬ点も多く、努力の必要があります。



印刷部
田原 佑哉さん
(入社3年目)

作業時間を意識して仕事に取り組んで
くれているんですね。
現状に満足していない姿勢が
素晴らしいです!



印刷業界の難解「あるある」をご紹介！

あるある印刷では、難解な事件(トラブル)が発生している。今日もまた、天然系工場長のもとに新たな相談が持ち込まれるのであった…。

あるある印刷の事件簿



事件ファイル2「背割れ」

製品オペレータ：「工場長、大変です！パンフレットの折り目部分にヒビのようなものが入ってしまいます！このままでは納品できません!!」

工場長：「すぐにそのパンフレットを持ってこい！」

製品オペレータが、そそくさと現場からパンフレットを持ってきた。

工場長：「これはひどいな。乾燥が原因でこうなってしまったのか…。ん、まてよ。これは紙の目が逆だ!!」

製品オペレータ：「どういうことですか？」

工場長：「紙には繊維の向きがあって、縦目と横目に分かれるんだ。正しい紙の目の用紙を使用しないとこのようなことが起こってしまうんだ。ちなみに紙を破ると破れた部分から紙の繊維が見えるんでよくわかるんだ。」

製品オペレータ：「用紙購入の時点で間違っていたんですね。」

工場長：「今日は徹夜で作業すれば、なんとか間に合うから、みんなで頑張ろう！」

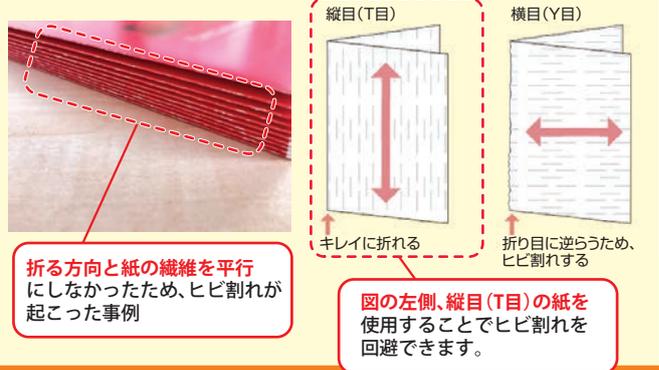
製品オペレータ：「とほほ… (涙)」

こんなトラブル

わいんの対策はこれ！

折加工のある場合は、折る方向と紙の繊維を平行にしなければなりません。紙の目を間違えると折り目部分にヒビ割れが起こる可能性があります。これを「背割れ」といいます。折り目部分に印刷があると背割れした部分は紙の白が出て目立ってしまいます。

わいんでは用紙の注文をする時に、生産管理部で紙の目の指定をして逆目にならないようにし、2人の生産管理マンでダブルチェックしています。また、厚い紙では紙の目を合わせても背割れする可能性があるため、折りやすくするための折り目のスジを入れて(筋入れ) 背割れしないよう対策しています。



走れ、営業マン!!



お腹周りが限界突破！

津村泰史(出力部次長:44歳)です！

もともとは食べても食べても太らない体質でしたが、40歳を過ぎてから急激に体重が増加してしまいました。

今では家族から「ブタババ」とかなり不名誉なあだ名で呼ばれています。この現状を打開すべく、腹筋、腕立て伏せなどの筋力トレーニングやランニングを始めようと考えています。3月までは繁忙期なので仕事がひと段落つけば実行するぞ!と意気込んでいます。去年も同じようなことを考えていたような気がします…(笑)

目指せ体重マイナス5kg!



笑顔で免疫力アップ

栗須明秀(営業部部长:61歳)です！

還暦を過ぎ、体力の衰えを感じる年齢となりました。加齢による免疫力低下が原因か?今まで風邪にも罹らなかったのにと不思議があります。その免疫力を高めるのに「笑い」が良いと聞きました。よく笑う人が健康なのは「健康だから笑う」のではなく、「笑っているから健康」だと思います。みなさんもこれからは「笑い」を常に心がけて、体の免疫力を高めてみませんか。職場など大声で笑えないときは「笑顔」で仲間に「ニコッ」と微笑むと職場の雰囲気や和み、良い人間関係を築けると思います。



和歌山印刷所ニュースレター・アンケートのコーナー

今回の記事で印象に残った記事などがありましたら下記のチェックボックスにチェックを入れ、感想をご記入の上でFAXを送っていただくとクオカード(500円分)を抽選でプレゼントいたします。(FAX/073-452-2631)

特集「ストーリー」 わいわいインタビュー あるある印刷の事件簿 走れ、営業マン!!

ご意見・ご感想等(御社名/

御氏名/

)

編集後記

都市部も地方も関係なく、ウイルス対策の話題で持ちきりですね。私も予防のため、仕事でも小まめに手洗いするようになったのですが、ひとつ大きな発見がありました。

しっかり手を洗うと、めちゃくちゃサッパリするんです。予防とは関係なく続けていきたいと思えるほどサッパリするのでオススメです。今までいかに雑に洗っていたのかよくわかり、大いに反省しました。まだまだ流行は続きそうですが、手洗いのプロになって、無事に乗り切りたいと思います。

(編集長：椿原健太)